

大田区立図書館全館で常設コーナーになりました!

# りんごの

た な  
棚



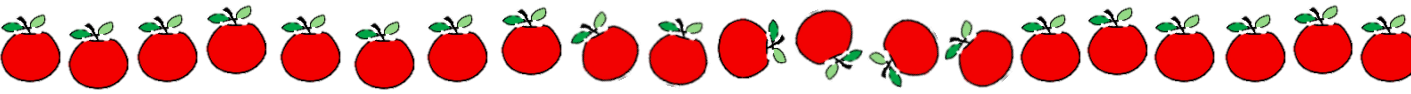
## こどもみんなに読書の楽しさを

「りんごの棚」<sup>たな</sup>とは、スウェーデン<sup>う</sup>生まれの「特別なニーズのあるこどもたちのための資料<sup>しりょう</sup>」

を展示した棚<sup>たな</sup>です。名前の由来は、りんごの棚<sup>たな</sup>を考案した図書館にある、特別な配慮<sup>とくべつ はいりよ</sup>を

必要とするこどものためにつくられた、りんごのおもちゃからつけられました。

すべてのこどもに読書の楽しさを<sup>どくしょ たの し</sup>知ってもらうことを目的に、世界各地<sup>もくてき せいかいかくち ひろ</sup>に広がっています。



# りんごの棚には、読みやすく工夫された本があります

**大きく読みやすい字の本**  
 「大きな文字の青い鳥文庫」を全館で200作品以上所蔵しています。

**写真・イラストが多い本**  
 「LLブック」やさしい文章に、写真やイラスト、ピクトグラムを使い、視覚的にわかりやすく表現した本です。

**さわって楽しめる本**  
 点字など、さわって楽しめる絵本や図鑑があります。



『銀河鉄道の夜』(宮沢賢治/作 太田大八/絵)  
 (左)講談社青い鳥文庫 (右)講談社大きな文字の青い鳥文庫

- 奥左から、
- 『ともだちってどんなひと?』(赤木かんな/著 濱口瑛士/絵 埼玉福祉会出版部)
  - 『旅行にいこう!』(藤澤和子/川崎千加・多賀谷津也子・小安展子/企画・編集・制作 樹村房)
  - 『ぼくと目の見えない内田さんがあつたはなし』(赤木かんな/著 濱口瑛士/絵 埼玉福祉会出版部)
  - 『仕事に行っていきます』シリーズ(埼玉福祉会出版部)

- 奥左から、
- 『さわってたのしむどうぶつずかん』(ドーリング・キンダースリー社編集部/企画・編集 長瀬健二郎/日本語版監修 BL出版)
  - 『さわるめいろ』(村山純子/著 小学館)
  - 『音にさわる』(広瀬浩二郎/作 日比野尚子/絵 偕成社)
  - 『みつげちゃ王』(金子修/文 たかはしこうこ/絵 桜雲会)



資料の予約・検索・電子書籍貸出サービスの利用は図書館HPからできます。

## りんごの棚には様々な障がいや多様性について理解するため資料もあります

文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」において小学校・中学校において「学習面で著しい困難を示す」こどもの割合は6.5%となっていますこのような子どもたちは限局性学習症(SLD)と呼ばれており、学習障害(LD)の人の約80%に読み書き困難(ディスレクシア)があると言われてしています。

ディスレクシアとは……目は見えるが、脳で文字情報を処理することが困難となる症状

ディスレクシアの症状をもっている子どもたちにとって、視覚障害がある人たち向けの資料は有効です。

学校において当事者自身がディスレクシアの症状に気づき申告できることはないため、身近な先生がその症状に気づき、適切なサポートをすることが求められています。



### えほん じどうしょ よ でんししょせきかしたし 絵本や児童書も読める! 電子書籍貸出サービス

「大田区電子書籍貸出サービス」では、絵本や児童書も読むことができます。読みやすい大きさに拡大でき、読み上げ機能を利用できる資料もあります。区内在住・在学・在勤の方ならどなたでも、ご登録によりご利用いただけます。登録方法は各図書館のカウンターへお問い合わせください。

